

啓発



公益社団法人 福井青年会議所

2015
vol.02

三者対談!! 実現!! 福井から地方創生を考える



Contents

三者対談	2p
事業報告	4p
JC女性会員座談会	6p
次年度理事長内定	7p
新入会員紹介	7p
事業告知	8p

ごあいさつ

私たち福井青年会議所は、明るく豊かなふくいの実現を目指し、青少年事業やまちづくり事業を展開し、各事業を通じて意識変革をしながら自身を成長させることで愛するふくに貢献していくと共に、会社の発展や家族の幸せにつなげていく覚悟を持って活動しております。この「啓発」により、私たちの活動を多くの方に知って頂き、ご参加頂くのみならず、これからの「より明るくより豊かなふくい」のことを考え、共に行動していただければ幸いです。

2015年度 第55代 理事長 増田 喜一郎

福井から地方創生を考える

平成27年8月3日(月)、当青年会議所メンバー一同は石破茂地方創生担当大臣を訪問し、石破茂大臣、福井県選出の国会議員である稲田朋美自由民主党政務調査会長、当青年会議所の理事長である増田喜一郎の三者による対談を実施しました。

増田理事長 地方は現在、人口の減少という問題に直面しています。人口減少社会を迎え、将来の日本像を考える上で、地方の役割・意義とは何でしょうか。

石破大臣 日本は今までどこも経験したことのない人口減少局面に入っています。このままの状況が続けば、200年後には日本人は1400万人に減り、やがて日本人はいなくなってしまう。

増田理事長 我々も福井で色々な事業をやらせていただいておりますが、結局、福井県民は郷土愛自体はあるものの、具体的に何に対して郷土愛を持っているのかがはっきりしていない県民性があると感じています。地方創生の鍵は、そのような地方のアイデンティティ、潜在能力を自分たちがしっかり自覚するところから始まるとすれば、そこをどのようにこれから展開していくか、というのが今後の我々の切り口になると思っています。

先日、横浜でサマーコンファレンスという日本JCの大会がありました。そのなかで、イノベーションを起こす思考、色々な物と物を繋げることで様々なイノベーションが起きるということを学ばせていただきました。福井のよい物とよい物を組み合わせると何かさらによりよい物を作れないかという観点で、稲田先生は何かお考えがありますでしょうか。

稲田政調会長 すでに、眼鏡で培われた技術・材料と、福井の刃物が一緒になって、医療器具を作るといことが行われています。医療器具には多くの規制があるのですが、この規制を取り払うことで、縦割りではない新たな試みがなされています。このような試みは福井だけではなく、色々な地方の中小企業が、他の業種に打って出て、お互いに組むことで、新たな可能性が広がると考えます。そのために、他業種間の結びつきや、規制を緩和することを進めることが重要です。

増田理事長 地方の中小企業間の新たな結びつきで仕事の間口が広がって、その結果、Uターン、Iターンで学生が戻ってきてくれることに繋がるのが理想といえますね。

石破大臣 幸福感のずれという大きな問題です。福井県は客観的指標からみれば全国一住みやすい県なのです。ところが福井県の人たちの主観では、全国で31番目によいと思っと思っています。このずれは何なのか。しかも男女別で見ると、福井の若い男性が一番、自分の県がよいところだと思っっていないとされています。もう少し、福井の良さというものを、福井の人たち、特に若い男性自身が見い出すことが必要なのではないのでしょうか。



石破茂

また、地方創生を考えたときに、地方の農業、漁業、林業、サービス業、観光業の伸びしろがあると思っています。農林水産大臣にも言っているのですが、日本は世界で一番農業に向いている国であるといえます。なぜならば、農業には土と光と水と温度が重要ですが、この4つがバランス良く合わさった国は日本しかないのです。それなのになぜ日本の農業、漁業、林業は現状よくないのか。それは、これまで地方は企業誘致と公共事業で十分やってこられたため、それ以外の分野を伸ばそうとしなかったからです。

しかし、これから先はそれでは駄目で、地方の仕事について、いかに労働生産性を上げて、雇用をもっと安定したものにするかを考えると、地方がやれることは山ほどあるのです。そこで、まず福井が手本を示す、という姿勢が必要です。「うちなんか駄目だよ。」と言っているところは、本当に駄目になってしまうと思います。「何をしてくれるか。」ではなく、「福井が日本全体に対して果たすべき役割は何か。」という観点が重要です。

稲田政調会長 福井には、世界シェア1位、2位という中小企業がたくさんありますね。そのようなよいところを分析して、横に展開していくべきと考えます。

また、文部科学省は「早寝・早起き・朝ご飯」を推奨していますが、福井の人からみると、それは当たり前のことです。そういった生活のあり方も福井が優れている要因だと思っしますし、皆早く会社から帰って、地域の活動や運動といった色々なことをやっていることもあると思っします。福井の特殊性をもっと発信していくというのが、日本のためにもなります。

石破大臣 出生率についても県ごとのデータがありますが、市町村ごとでも差があります。出生率に差が出るのには、何らかの原因があるはずだ。



石破茂
昭和32年2月4日生
鳥取県八頭郡八頭町(旧郡家町)生まれ
衆院議員
国務大臣(地方創生・国家戦略特別区域担当)

稲田朋美
昭和34年2月20日生
福井県今立郡今立町(現:越前市)生まれ
衆院議員 自由民主党政務調査会長

増田喜一郎
昭和50年5月7日生
福井県福井市乾徳生まれ
公益社団法人福井青年会議所 第55代理事長
株式会社増田喜 専務取締役

例えばコマツは本社機能を石川県小松市から東京に随分前に移したのですが、同じコマツの正社員の女子で、婚姻率×出生率は、東京の本社に勤めている人と小松市に勤めている人とは、5倍違うそうです。考えてみれば、東京圏では通勤片道一時間近く、地方だと平均20分台のところもあり、時間的余裕が随分あります。家の広さも、北陸と東京では倍違います。このような地方の状況をもっとアピールしなければなりません。

また、地方は閉鎖的で、出て行った人がなかなか帰ってこないという面もあると思っします。地方に帰ってこいよ、という声かけも必要なのではないでしょうか。「帰ってこいよ。みんなでやろうぜ」ということをJCにこそ言っ頂きたい。

増田理事長 おっしゃる通りです。福井のよさを自分たちで認識し、発信するということを我々一人一人がやっっていくことが重要だと感じました。

最後に先生方が今後、JCに期待することは何でしょうか。

増田喜一郎



石破大臣 今、地方創生においては、「産・官・学・金・労・言」の連携をお願いしています。全国全ての市町村に対して、来年の3月31日までに、今後5年間の総合戦略の作成、提出をお願いしています。これは役所だけがやればよいというわけではなく、そこではまず「産」、商工会議所、商工会、JC、中小企業団体中央会等、産業界にかかわる方々に必ず参画して頂きたい。声がかかるのを待つのではなく、自ら参画して欲しい、ということ。仮に市長から声がかからなければ、JCから市長に対して意見をぶつけてもらいたい。「地域経済分析システム(RESAS)」とインターネットで検索してもらえば、これまで官しか持っていなかった色々な経済指標を見ることが出来ます。それを見て、お金を稼いだ経験のない公務員ではなく、若い経営者が経済人の目で分析をして、押しかけていっでも意見を述べて欲しいと思っします。地域の全ての人々が参画することが必要ですが、それには誰かが引っ張っっていかなければなりません。その役割をJCに担っ頂きたいと思っします。

稲田政調会長 青年経済人らしい自由な発想で、色々な意見を発信して欲しいと思っします。地方の創生は、地方に生活し、経済活動を行う皆さんにかかっています。特に、福井は全国に誇れる優れた特徴を多数持っているのですから、それを分析し、例えば日本JCの場で福井JCの皆さんが今後の地方像を発信する等、全国のJCメンバーおよび市民を引っ張っっていく姿勢を示して欲しいと思っします。

増田理事長 本日は大変貴重なお話しを頂き、本当にありがとうございました。

このページは右記QRコードから福井JCホームページでもご覧いただけます。



事業報告

1月例会 新年賀詞交換会

本年最初となる例会に、行政機関や関係団体の皆様を多数お迎えし、盛大に新年賀詞交換会を執り行いました。西川知事にもお越しいただき、来賓の皆様にも本年の事業概要および我々の活動方針を熱意と共にお伝えすることができました。歓談中は積極的に情報交換を行っていただき、我々現役メンバーが知行合一を貫き、「明るく豊かなふくいの創造」の為、活動することをお約束しました。



3月例会 「育都ふくいの実現に向けて」～学ぼう! 全国城下町青年会議所連絡協議会・全国城下町シンポジウム～

3月例会『育都ふくいの実現に向けて』を開催しました。本例会は、2014年に加盟した全国城下町青年会議所連絡協議会の活動を理解し、『育都ふくい』の開発を加速させるため、本年度全連会長である野瀬田隆君(熊本JC)を講師に迎え実施しました。さらに全国城下町シンポジウムの主管立候補が例会前の総会で決定したこともあり、メンバーの眼差しも真剣そのものでした。



5月例会 「キャリア教育を学ぼう」～子どもたちの成長のために～

今回の例会では、これまで福井JCが行ってきた青少年育成事業の振り返りと、福井経済同友会様と福井商工会議所青年部様のメンバーに参加いただき、各団体の行っている青少年育成事業の説明や、増田理事長を加えた3名でのパネルディスカッションなどを行いました。また、地域の担い手づくりプログラムのハンズオフへ向けた説明や、他団体との連携の必要性などを学び、事業への参加意欲を高めるきっかけを作ることができました。



7月例会 全員広報

7月例会は「全員広報」をテーマに、元プロ野球選手で、現在は野球塾を福井で開いている広瀬哲朗氏をお招きし、ご講演をいただきました。その後、当青年会議所4名の副理事長を加えパネルディスカッションを行いました。広瀬氏や各副理事長からは、自分の経験に基づいた広報の方法・工夫についてお話いただき、当青年会議所を広く市民の皆様を知っていただくことの意義を再確認する場となりました。



2月例会 LOMの魅力再発見～何を拡大するのか～

2月20日、LOMの魅力再発見～何を拡大するのか～を、2014年度公益社団法人日本青年会議所副会頭で宮崎JCシニアクラブの岡田憲明先輩を講師にお招きし、開催させていただきました。本年度の拡大活動のキーワードとなっております、全員拡大に欠かせない各人の拡大活動への参加意識を高揚する例会となりました。後半部分では、それぞれが持っている情報の再精査のために、拡大マドンナシートを参加者全員で作成しました。



4月例会 ～気づきから生まれる資質向上～

例会事業では、日本JC公認プログラム「JCゲーム」をMAKJCのOBであり、公益社団法人日本青年会議所公認トレーナーの加藤先輩のもと行い、参加したメンバーには、JC活動の意味について考え、これまでの活動内容を振り返り様々な気づきを感じて頂きそこから会員の資質向上、そして今後のより積極的なJC活動の実現につなげていただける内容となりました。



6月例会 組織力の向上

6月例会では、「組織力の向上」と題し、サウルコス福井のゼネラルマネージャー兼監督である佐野達氏をお招きし、ご講演を頂きました。その後、佐野氏、増田理事長を交えてパネルディスカッションを行いました。自社で、そして青年会議所で様々な役割を担うメンバーにとって、リーダーとは何か、人を動かすには何が必要かといったことを改めて考える場になり、有意義な時間となりました。



8月例会 新入会員の教育研修事業

入会したばかりのメンバーが、初めての例会構築で、背景・目的を意識しながら事業実施の手法や他のメンバーに協力を得る手法など例会実施までの期間の中で、たくさんの学びを得る機会となりました。例会当日は下半期に向けてそれぞれが情熱を持って各々の事業に邁進できる機会を提供することができました。



ふくい人の育成

スマイルキッズキャンプ2015

8月8日、9日に【スマイルキッズキャンプ2015】を開催し、小学5・6年生の子どもたち36名に参加をいただきました。今年は越前市のハツ杉森林学習センターをメイン会場とし、子どもたちは様々なミッションに挑戦しました。

1日目はアオッサでの開会式後、ハツ杉森林学習センターまでの約45キロを、電車やバスを利用したウォークラリーを行いました。当日は35度を超える気温でしたが、チームのメンバー同士励まし合いながら、誰一人脱落することなくゴールしました。また、途中のチェックポイントでは昆虫採集のための、エサや虫かごを作

り、ハツ杉では天体観測も行い、きれいな星空を見ることができました。

2日目には、池田町の農家で夏野菜の収穫体験を行いました。両手に余るくらいたくさんの野菜を収穫し、その野菜を使ったカレーと飯盒でのごはんを美味しくいただきました。

そしてキャンプの最後には、2日間学んだことをチームで発表し、閉会となりました。最初は緊張していた子どもたちも、最後は本当に良い笑顔で帰っていきました。多くの皆様にご協力とご参加いただき本当にありがとうございました。



2015わんぱく相撲 福井大会 全国大会



12地区から137名の小学生が参加して、熱戦が繰り広げられ、一人一人懸命に取り組む中で、涙を流して悔しがるもの、勝利に喜ぶものなど多くの物語がありました。

また、この福井大会で優勝した4年生の梅澤新君(麻生津)、5年生の武内楓夢君(松本)、6年生の小寺和輝君(宝永)が8月2日に行なわれたわんぱく相撲全国大会に出場し、勝ち負け以上に、福井の代表として、強い相手と戦った経験は、彼らに多くの学びを与えるものでした。

地域の担い手づくりプログラム



福井市内の小学6年生と中学生を対象とした、仕事に対する職業観や勤労観を養うためのプログラムです。地域の商店街などの大人の方には、先生として参加いただき、仕事を上での様々な想いを話していただきます。また子どもたちは、先生から聞いた仕事やその想いなどを発表し、「チームワークを大切に」、「時間の厳守」、「自分の考えを伝える」という3つの約束を守ることで、社会人としての心構えを学びます。

ちからプログラムの実施



福井市内の小中学生を対象とし、年齢に応じた3つの「力」を育むプログラムです。

低学年には、相手を不快にさせるNGワードを使わず、文章で自分の気持ちを表現する「伝える力」。中学年には、相手の気持ちを理解し、自分と比較し表現する「ほめる力」。高学年には、チームの中で自分の想いを伝え、話し合い、意思決定をする「決める力」。

これら3つの「力」の習得を通して、コミュニケーション能力を育成します。

育都ふくいの開発

子育て世代のためのまちづくり懇話会

6月6日(土)・17日(水)及び28日(日)の3日間、エンゼルランド福井において、『子育て世代のためのまちづくり懇話会』を開催いたしました。3日間合わせて91名の子育て世代の親御様に御参加いただき、7名の匿名の御意見をいただくことができました。この懇話会では、福井県及び福井市の職員の方から福井県と福井市の子育て支援政策を御説明いただき、当青年会議所から親御様に対して福井の現在や将来の課題、ふくいを「子育て世代が住みたくなり、暮らし続けたい」先導地方都市「育都ふくい」とする

ために当青年会議所が考える施策案を御説明した後、親御さんと当青年会議所メンバーで子育てやまちづくりについてグループディスカッションを行いました。参加していただいた親御様へのアンケートでは、「今まで知らなかった福井県や福井市の施策を知ることができた」「福井の現在や将来の課題を知ることができた」「子どもの将来のために市民一人一人がまちづくりに参加する必要があると感じた」「青年会議所の活動に共感が持てた」という御意見を多数いただきました。





2015JC女性会員座談会

平成27年8月25日(火)
ユアーズホテル3階 Bonheur

福井青年会議所には現在、9名の女性メンバーが在籍しています。平成27年8月25日(火)、福井青年会議所の女性メンバーによる女子会が開催されました。その女子会前に、女性メンバーから、JCに対する率直な思いをうかがってみました。

JCに入会した経緯は…

中村 仲間が増えそうだと思って入会しました。
鈴木 河上先輩からお声をいただいた時、ちょうど今の環境と違うところで何か勉強してみたいなと思っていたタイミングだったので、入会を決意しました。
増田 林さんからの紹介があり、色々な人と交流して自分を成長させたいと思って入会しました。
岩佐 勤め先の所長がJC活動をがんばっており、自分も何か地域貢献がしたいと思うようになり入会しました。また、メンバーの人たちが楽しそうに見えたというのも入会を決めた理由です。
林 女性ばかりの会で活動することが多かったのですが、男性の多い大きな団体と一緒に活動してみたいと思いました。
高間 浅野さんから紹介され、金本さん、林さんからお話を聞いて入会したのですが、金本さんからの説明でJCの魅力を感じることができたのが、入会の決め手になったと思います。

岩佐 入会前は常に忙しいというイメージだったのですが、実際には意外とマイペースに活動できるというか、仕事や家庭との両立もできるなと感じています。あと、メンバーが意外と紳士でした。
林 私も入会前にJCに対して特段イメージを持っていませんでしたが、入会してみると、メンバー皆がポテンシャルを発揮して、意識的に活動していると感じました。
高間 まだ入会したてですので、今のところ入会後にそれまでのイメージが変わったということは、特段ありません。

今後、JCでどのような活動をしていきたいか…

中村 行政も他団体もやっていないこと、例えば貧困問題や安否問題など、本当に困っている人を支援できるような活動に取り組みしていきたいと考えています。
鈴木 今は具体的なイメージはありませんが、卒業まであと10年以上あるので、そのなかで見つけていきたいと思っています。
増田 まだ入ったばかりで右も左もわからないので、今は与えられたことを一生懸命取り組んでいきたいと思っています。
高間 様々な事業や多くの活動を通して、自分自身が向上し学び、受け継いでいきたいと思っています。
岩佐 JC内での不効率な部分については是正していきたいと考えています。
林 女性の活躍を社会でサポートできるような活動をJCでも行っていきたいと考えています。

JCに入って、入る前とイメージが変わった点は…

中村 入会前は飲み会ばかりしている会というイメージだったのですが、入会して、ちゃんと社会のことを考え、真面目に活動していることがわかり、いいイメージに変わりました。
鈴木 入会前にJCに対して特段イメージを持っていなかったのですが、入会後にイメージが変わったということは特段ありませんでした。
増田 私が入会前にJCに対して特段イメージを持っていなかったのですが、入会後はすべてが新鮮に感じています。

このページは右記QRコードから
福井JCホームページでもご覧いただけます。



会員募集 2015年度

まちのため、人のため、未来のために
私たちとともに活動しませんか？

新入会員受付基準

- ◎原則として、福井市内及びその近郊に居住または就業している男女。
- ◎満20歳以上で満40歳未満の情熱のある男女。
- ◎正会員2名以上の推薦を受け、年2回(5月、11月)の入会審議において承認された男女。



誠心誠意ご説明させていただきます！

会員拡大委員会 委員長 高倉 健治

- 福井JCで出会う仲間は、あなたの人生において大きな財産となります
- 福井JCで培われたネットワークは、あなたのビジネスに大きな力となります
- 福井JCで体験する様々なプログラムは、あなたの企画力や実行力を高めめます
- 福井JCで素晴らしいシステムの中から組織運営を学ぶことができます
- 福井JCでしか体験できない様々な自己啓発・トレーニングを体験できます

JC 4つの機会

01 個人の機会 Leadership Development

JCという団体は、満20歳から満40歳までの青年で構成されています。現在、私たち福井JCには100名を超える志の高いメンバーが所属しています。メンバーと共に色々な事業を構築・実施していく中で、個人としてのスキルアップもでき、友情を育むことができます。

02 地域の機会 Community Development

福井JCでは、まちづくりや青少年育成、人材づくりなどの分野で多くの事業を行っています。これらの事業を通して私たちは地元「ふくい」と大きな関わりを持っており、郷土の発展に貢献できるよう、活動しています。

03 国際的機会 International Development

JCの組織は世界120ヶ国以上に広がり、多くの国際交流の場が設けられています。特に、福井JCは福井市の姉妹都市である韓国・水原やアメリカ・ニューブランズウィックとの交流の礎を築いており、現在でも定期的に交流しています。

04 ビジネスの機会 Business Development

JCのメンバーは、一歩JCを離れると様々な業界で活躍している青年経済人ばかりです。また、500名を超える卒業生(OB)は今もふくいの経済界で活躍されています。JCでの出会いを通して、新しいビジネスがいっつも生まれています。

次年度理事長内定！

「一蓮托生」運命を共にする仲間と共に 未来に向けて次の一步を

2016年度 理事長内定者

いたくら ゆういち

板倉 雄一

2016年は、当青年会議所が公益社団法人となって4年目となる年です。これまで当青年会議所は、Action Plan from 2012に基づき、ふくいを明るく豊かにする様々な活動を展開してまいりました。2016年は、これまでの活動の成果や課題を検証し、目標実現に向けてさらなる飛躍を目指していきたくと考えております。

また、当青年会議所は、創立55周年を迎える2017年に全国城下町青年会議所連絡協議会が主催する全国城下町シンポジウムの主管を担うことになりました。城下町福井の新たな可能性を市民の皆様とともに見出すべく、関係諸団体の皆様のご協力を仰ぎつつ、準備に邁進していく所存です。

2016年も、これまで以上のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



新入会員紹介 2015年度 下期

 <p>おた ゆきこ 太田 由起子 エステ&ヒーリングサロン ANELA \$52.12.30 JC活動を通じて、出会いやチャレンジを重ねて、より多くを学び自己成長をし、そして、微力ながら福井に貢献したいと思っております。よろしくお願致します。</p>	 <p>おおひら しんや 大平 真也 株式会社大平工 \$56.9.29 まず、自分自身に何が出来るかをしっかりとみつめ、目的に向かってしっかりと頑張っていきたいと思っております。よろしくお願致します。</p>	 <p>こじま しげき 小島 茂幹 HAIR/MAKE PARIER \$51.8.7 1年間と短い期間ではありますが、JCの活動に積極的に参加し、仲間との交流を深め自分を磨き、福井に貢献出来るよう頑張りたいと思っております。</p>	 <p>ささき だいすけ 佐々木 大介 株式会社佐々木一級建築士事務所 \$55.4.27 新たに出会う素晴らしい仲間と共に、積極的に活動に関わり、福井の魅力を発信していきたいと思っております。よろしくお願致します。</p>
 <p>ささもと さき 笹本 沙希 BROWN SUGAR \$56.12.21 ご縁があり、この度入会させて頂きました。たくさんの方と出会い、知識を広げていけたらと思いますので、どうぞよろしくお願致します。</p>	 <p>しまだ かずひさ 島田 和久 バナナカデラル \$53.6.7 誇り高き福井JCの一員となることができ、志の高い仲間ができたことが大変嬉しく思います。私も地域、社会に貢献できる、そんなJC活動を頑張っていきたいと思っております。</p>	 <p>しみず ともぶ 清水 智信 株式会社ボックス・スタイル \$56.6.28 私はまだまだ社会人として未熟者ですので福井県を良くしたいという同じ志を持った年の近いJCの皆さんと一緒に行動し、成長して福井県がもっともって輝く成長出来るようがんばります！</p>	 <p>たかくら りょうま 高倉 竜馬 株式会社西洋菓子倶楽部 \$59.7.31 JC活動を通して自分自身成長出来るように頑張るよう大切に人と人との繋がりを大切に活動していきたいと思っております。</p>
 <p>たかま さちよ 高間 幸代 スペース源内(株) \$55.3.9 人との出会いに感謝し、常に目標を持ちながら、JCの一員である事を自覚し、仲間と共に刺激し合いながら、歳を重ねていきたいと思います。</p>	 <p>たなか ゆうや 田中 裕也 北陸旅行(株) \$56.2.22 多くの方々から刺激を受けて、自分を成長させていきたいと考えています。また自分の受けた刺激を、まわりに還元していけるような経験を積んでいきたいです。</p>	 <p>だん ゆうた 團 勇太 株式会社イーローキャブ近畿 H3.8.29 この歳でJCに出会えて卒業まで16年という長い年月ですが、自分のスキル向上を目指し、また大好きな福井を良くするために意味のある16年にしていきます。</p>	 <p>はら ひろき 原 公樹 真宗大谷派 浄得寺 \$52.8.29 JCでの地域貢献活動を通して、交友を深めながら多くを学び、自分自身の成長を実感できるよう、様々なことにチャレンジしていきたいと思っております。</p>
 <p>ほり だいすけ 堀 大介 株式会社カイエンジービー \$59.10.1 はじめまして。株式会社カイエンジービーの堀と申します。入会にあたりまして、団体行動の身の置き方を身につけたいと思っております。宜しくお願い致します。</p>	 <p>ますだ はつみ 増田 初美 夫婦問題・離婚相談室 kael \$52.7.24 ご縁があって参加することの叶ったこのJCで、様々な活動に積極的に参加し、福井のため、自身の成長のために、多くの経験を積んでいきたいです。</p>	 <p>みやごし なおひで 宮腰 直秀 ㈲ウィ・ディッシュカンパニー \$53.2.23 3年という短い期間ですが、精一杯参加して取り組んでみたいと思っております。限られた時間の中での活動になりますが、積極的に参加し、活動し、発言し、実行するをテーマに行動致します。</p>	 <p>やまざき たけし 山崎 武士 株式会社西四郎商会 \$53.12.18 短い期間の中では企画運営に関わるまでにはなれないかもしれませんが、会を盛り上げていけるように皆さんと絆を深めて一緒に協力していきたいと思っております。</p>
 <p>よしかわ ともひろ 吉川 知宏 吉川コーク(株) \$52.8.14 今回/パッチワークを終え、今までの生活とはこれからどう変わるのか、非常に楽しみです。委員会、例会、参加できるものはできるだけ参加し、自分を変えていきたいです。</p>	 <p>よしだ ともゆき 吉田 知志 株式会社吉光工業 \$53.6.24 JC活動を通じて、福井の人や魅力に気づき、子供世代が暮らしやすいまちづくりに積極的な参加と、自己成長を目指したいと思っております。</p>	 <p>わかやま だいすけ 若山 大輔 若山行政書士事務所 \$62.8.11 5年後、10年後に、JCのみならず様々な事を学び、そしてその活動を通して様々な方と出会い学びを得るようになり、仕事もJC活動も頑張ります。</p>	 <p>わだ さとし 和田 哲史 ㈲ワンダーフードサービス \$61.1.19 地元福井の伝統、政治、経済、教育など様々な事を学び、そしてその活動を通して様々な方と出会い学びを得るようになり、仕事もJC活動も頑張ります。よろしくお願致します。</p>

9~12月事業告知

10/3(土)・4(日)
ふくい秋の収穫祭2015
『育都の燈』
 ~未来のために甦れ城下町ふくい~
 県庁線(福井県庁前)



今年で13回目を迎えるふくい秋の収穫祭は、県庁線(福井県庁前)を舞台に2日間開催されます。今年のふくい秋の収穫祭は、『城下町』をコンセプトとしており、人力車が中心市街地を走ったり、今は無き福井城をプロジェクションマッピングで再現させます。その他にも、YOSAKOIや左義長などのステージ企画や子供たちがふくいの歴史を学ぶ企画など盛りだくさんとなっております。ご家族やご友人をお誘いの上、和装にて是非ご来場下さい!

【日時】10月3日(土) 11:00~22:00、10月4日(日) 10:00~17:00
 【場所】県庁線(福井県庁前)
 詳しくは、福井JCのホームページ、公式フェイスブックにてご案内中

11/14(土)
福井工業大学 福井キャンパス
11月公開例会
~スポーツの力は無限大!
考えよう将来のふくいを~

11月公開例会では、一人でも多くの市民に今後のまちづくりに対する関心を高めていただき、国体を控えたこの福井にスポーツ振興を広め、まちづくりを考えるきっかけとして、サウルコス福井の佐野監督や、福井ミラクルエレファントの吉竹監督をお呼びし、基調講演、パネルディスカッションを行います。
 また親子で参加できるニューススポーツ体験でスポーツの持つ楽しさ、素晴らしさを体感していただき、一般市民、スポーツ関係者、JCメンバーを交え参加者同士がスポーツを通じた新しいまちづくりの方向性を話し合っていたくグループワークを行います。



【日時】11月14日(土) 12:00~16:30
 【場所】福井工業大学 福井キャンパス
 詳しくは、福井JCのホームページ、公式フェイスブックにてご案内中

7月~10月
~グローカリズム育成事業~
未来の私がみんなのためにできること
 対象:福井市内の小学六年生

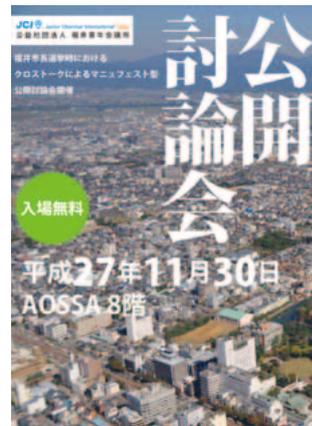


映画「ヒーローになれなかったヒーロー」作文コンクールを実施しました。日下部太郎は、江戸時代末において、「世界を見つめて、福井や日本の発展にはどうすれば良いのか」を考えた、正に「グローカリズム」を体現した人でした。その歩みには、郷土愛、貢献する心、夢を成し遂げる強い意志と信念が有りました。そして、彼とW・Eグリフィスの友情が、今の福井の発展に大きく寄与しました。彼らの歩みを通して、未来への夢によって、周りのみんなにどんなことが出来るのかを考えるきっかけにさせていただきたいと考えております。

表彰式 【日時】9月19日(土) 13:30~ 【場所】福井県立子ども歴史文化館
 詳しくは、福井JCのホームページ、公式フェイスブックにてご案内中

11/30(月)
AOSSA 8F 県民ホール
公開討論会(予定)

2015年12月の福井市長選挙に向けて、公開討論会を実施いたします。
 公開討論会とは、選挙の公示(告示)前に、立候補予定者をパネリストとして迎え、それぞれの考える政策について討論していただく場のことを言います。
 福井市民の皆様は、公開討論会に参加することで、選挙に向けて立候補予定者の政策を生で聞き知ることが出来ます。討論のテーマとされる話題は、まちの持つ魅力や、まちの抱える問題です。福井市民の皆様は、自らが愛し住み暮らすまちについて一層多くのことを知ることが出来ます。是非ご参加ください。



【日時】11月30日(月) 19:00~21:00
 【場所】AOSSA 8F 福井県県民ホール
 ※現在開催予定ですが、中止及び変更になる場合もあります。中止及び変更のお知らせは、福井JCのホームページもしくは、公式フェイスブックより随時お知らせいたします。

JCI Junior Chamber International Fukui
公益社団法人 福井青年会議所

〒918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル内
 TEL.0776-33-1750 FAX.0776-33-1752
 ●E-mail admin@fukuijc.or.jp ●URL http://www.fukuijc.or.jp
 ●公式FB https://www.facebook.com/fukuijc

福井JC ホームページ QRコード 福井JC 公式フェイスブック QRコード



発行 (公社)福井青年会議所
 編集 ふくいの魅力発信委員会
 委員長 浅野 野郎
 副委員長 竹内 耕一郎・伊藤 幸平
 委員 青山 俊介・上出 拓央・原田 大輔
 平馬 幸太郎・文珠 四郎 崇之